

1996年3月13日第3種郵便物認可 1996年12月9日発行(第2・4月曜日発行)

News Source of Educational Audiology

会員の誌代は会費に含まれています

聴能情報誌

みみだより

第3巻
第313号 通巻398号

編集・発行人: みみだより会、立入 哉 〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2150-1-1-203 電話: 0298-41-7069 FAX: 0298-41-5682

補聴器新製品

ソニーがデジタル補聴器を販売開始

欧米主導の補聴器開発が多い中、世界に誇るオーディオメーカー、ソニーが補聴器を作った。バイノーラルステレオ補聴器 TE-ST56B、耳かけ形補聴器 TE-H50、TE-H30といった独自の新発想補聴器に続いて、今度はデジタル補聴器の発表である。

デジタル補聴器 TE-D10、TE-DM10(L/R)は、以下の処理ができる特徴をもっている。
①音節分離処理、②衝撃音抑圧、③暗騒音抑制。特に①音節分離処理機能は、世界に先駆けた機能であり、デジタル補聴器ならではの機能といえる。

その他、TE-ST56B同様、マイクがイヤホン内に内蔵されているために、耳介による効果が得られ自然な音で聞くことができること、イヤホンもオーディオ用のダイナミックイヤホンを用いたために音質がよいなどの特徴も持っている。

調整装置としては、ステレオ/クロス切替、音節分離機能(OFF/1/2の3段階切替)、3チャンネルのGAIN調整、RCT(リカバリータイム調整)、3チャンネルの最大出力音圧調整の各トリマ(TE-D10では12個)を持っている。専用のプログラマーを必要としないトリマ調整であるため、場所を選ばず調整できるという利点もある。心憎い配慮で、充電池と専用充電器もセットされており、また、通常のアルカリ単4電池も使用できる細かい配慮がなされている。

出力的に、聾学校児童生徒に適用するのは困難だが、重度より軽い難聴児が用途に応じて使う「2台目補聴器」として、選択できる。ソニー補聴器センターで試聴ができる。ぜひ聞いてみたい1台である。

なお、両耳用 TE-D10が、120,000円。

片耳用 TE-DM10(L/R)が、75,000円。

主な仕様

最大音響利得 50dB

最大出力音圧レベル 128dB(ピーク)

付属充電池使用で6時間使用可能(D10)

■デジタル式の補聴器

ソニーが10日に売り出す補聴器「TE-D10」=写真=は、オーディオ用のデジタル処理装置を使って音声を再生するので、「人間の声ははっきり聞こえ、不快な騒音は抑える」を売りものしている。突然大きな音がしても新型のマイコン回路が音量を自動的に絞る。12万円。



朝日新聞12月3日掲載
朝日新聞本社の許可を得て転載

詳しくは、ソニー補聴器ご相談センター(受付9:30~17:30)(休日:土・日・祝・年末年始)
〒108 港区三田3-9-9 森傳ビル1F TEL:03-5445-9681 FAX:03-5445-9683

実習や少人数講義の内容の概略は下記の通り

実習・少人数講義シラバス

音場聴力測定	音場での聴力測定は補聴器フィッティングにとって重要な測定です。スピーカを使った聴力測定について、セッティングの方法・校正の方法を実習します。
補聴器の特性	それぞれの補聴器が持っている調整装置には重要な役目があります。ここではその調整装置の意味と、周波数特性への影響を実習します。
補聴器の調整	裸耳の測定結果・装用閾値をもとに、補聴器を調整する際に、どのようなことを配慮するかを学びます。補聴器のフィッティングの基礎実習です。
ケース研究	皆さんにお持ちいただいたケースについて、測定結果から考えられること・これからのフィッティング方針・聴覚学習の指針などを全員で考えます。
乳幼児聴力測定	幼児の聴力測定、特にBOA・VRA・COR・PLAYの各方法についてそれぞれの違いや、具体的な測定方法を学びます。
福祉法	児童の身障法をめぐる解釈・福祉法の利用法をお話します。特に基準外交付の申請方法、自己負担金の計算方法などをご説明します。
集団補聴器	どのようにループを敷設するか、ループの機器の設定の方法、校正の方法を学び、実際の教室で、それらを実習してみます。
音響分析	幼児の聴力測定をする際に、楽器を用います。これらの楽器の周波数特性・時間的特性を実際に測定します。また、音声の基礎知識を学びます。
ABR	ABRとは何か？、ABRの結果はどのように読めばよいのか？。具体的な例を通して、実習します。
中耳炎	聴覚障害児にとって、滲出性中耳炎による聴力低下は、聞き取りの悪化に即つながる大きな問題です。滲出性中耳炎とその治療について学びます。
語音検査	単音節明瞭度・単語理解度を測定するための、機器のセッティングを実習し実際にお互いの測定を行います。
FM補聴器	通常学校で学ぶ子どもたちの聞き取りを向上させるFMシステムについて、実際に周波数特性を測定し、利用上の問題点を明らかにします。
耳型の採型	イヤモールドを作るためには、耳型を作ることが必要です。ここでは耳型の採型方法や、イヤモールドによる音響変化について、実習します。
インサージョンゲイン	インサージョンゲイン（挿入利得）の測定が、フィッティングには欠かせないと言われていています。挿入利得を実際に測定し、その意味を学びます。
重複視の聴力測定	聴覚障害以外の障害を併せ持つ子どもの聴力をどのように測定したらよいか実際の測定場面のVTRを見ながら、配慮と測定の方法を学びます。
トランスニックの使用	新しい補聴器、周波数転移補聴器について、その調整方法とリハビリテーションプログラムを学び、実際の症例をVTRで観察します。
補聴援助システム	補聴援助システムは今後、もっとも発展が望まれる分野です。聴覚障害児者の日常の不便さを解消するシステムについて機器に触れながら学びます。
小学部期聴覚学習	聾学校小学部・小学校難聴学級で行われている聴覚学習の実際から、聴覚学習と補聴器を通したハビリテーションの中身に触れます。
幼稚部期聴覚学習	聾学校幼稚部・難聴幼児通園施設で行われている聴覚学習の実際から、聴覚学習と補聴器を通したハビリテーションの中身に触れます。
人工内耳の調整	子どもの人工内耳マッピングは聴覚補償の専門性の中に含まれています。どのようにマッピングをするのか、マッピング機器に触れながら、学びます。
noahシステムとAurical	noahシステムが補聴器を変えています。測定機器がコンピュータ化され高度化されてきています。その代表例を取り上げ、実際の測定法を学びます。
明瞭度指数	閾値の評価のために、どれだけことばが聞き取れる可能性があるかを示す明瞭度指数が補聴に使用されるようになりました。背景と計算法を学びます。

文化祭報告

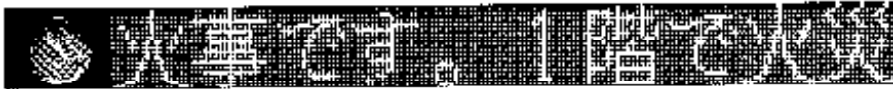
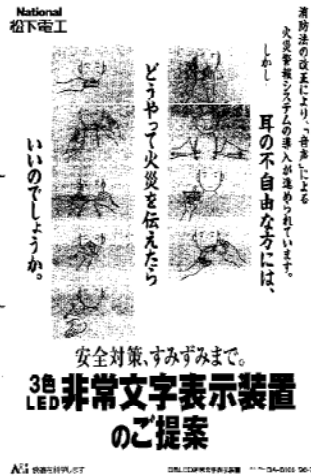
大阪市立聾学校 機器展示会より

11月16・17日の2日間、大阪市立聾学校にて「聴覚障害者に役立つ機器展示会」が開催された（「みみだより310号」掲載）。この会場で展示されていたもので、まだ「みみだより」等で紹介されていない新製品何点かをご紹介します。

1. 3色LED非常文字表示装置

松下電工が出品していたのは、非常時に自動的に火災情報を文字で流す装置。これは、火災報知機と連動し、火災などの情報が入ると、キセノンランプがフラッシュし、「火事です。1階で火事が発生しました」という文章を、大きなLED表示器（1180×140mm）に表示させるもの。パソコンと接続することによって、任意の文字を表示させることも簡単にでき、聾学校の校内放送の代用も可能である。

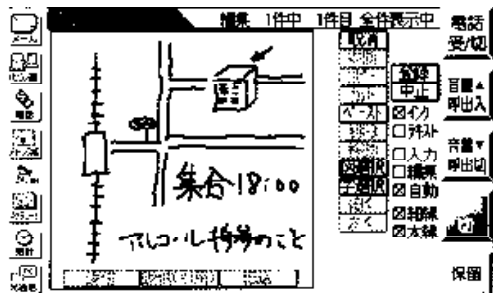
なお、公共施設や、身障者雇用をして民間事業所が設置する場合、前者は地域福祉推進特別対策事業、後者は障害者雇用促進法に基づく助成金を受けることができる。



詳しくは、松下電工（株）BA・セキュリティシステム事業部
〒571 大阪府門真市門真1048 TEL:06-908-1131

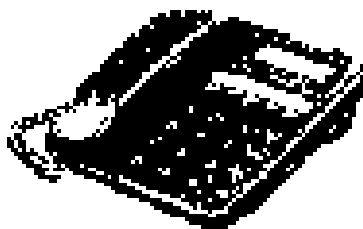
2. 新コミュニケーター PINOCCHIO（ピノキオ）

松下電器産業（株）からは、PHS複合電子手帳が出品されていた。これは電子手帳とPHS携帯電話とを合体させ、電子手帳機能に通信機能をプラスした意欲的な作品。PHSを内蔵しているので、手書き文字や絵をFAXに送信したり、ピノキオ同士ならば、手書き文字や絵を双方向でやりとりできる。その他、パソコン通信へのアクセスも可能。本体にPHSを内蔵したことで、外出先で公衆電話などに接続する必要がない。来年春発売予定。



3. ハウディ優 難聴者用電話機

NTTが出品していたのは、新しい難聴者用電話機「ハウディ優」。この電話機は以下の特徴がある。①受話音量が切り替えできる（4段階）、②磁気が出る補聴器対応、③着信時は光でお知らせ、④着信呼び出し音量可変、⑤ダイヤルが光るなど。これらの機能はWalker Clarityの機能そっくり。その他、液晶ディスプレイ、簡易留守電機能が付く。ナチュラルホワイト/コスミックグレーの2色があり、双方とも、18,800円。



Walker Clarityその他の難聴者用電話機の国内代理店が撤退するなか、とりあえず試用対象となる電話機である。

4. 磁気ボード（ジッキー）

「せんせい」で代表される磁気ボードの小型版。磁気ボードとは、磁石ペンでボード上に字を書くと、鉄粉が表面に吸い付けられ字として見えるようになるもの。ボードの裏側に磁石を付けることで簡単に文字を消すことができることから、筆談に使用している中途失聴者の方が多い。



なかでもジッキーはボタンを押すだけで消える「ワンプッシュ」が快適。難聴者が良く訪れる施設には便利かも？。ジッキーMemoleが2,200円、ジッキーHi-MEMOが2,500円。

(株)パイロット 〒141 品川区西五反田2-8-1 TEL:03-5487-8111

5. アシストホーン

郵便局などの窓口メガネが置いてあるのを見かける。これと同じように、耳の遠い老人の方に窓口で使ってもらおうという趣旨の小型増幅器。

有線マイクとオーディオ用ヘッドホン電池駆動のアンプというシンプルな構成。最大音響利得 55dB、最大出力音圧レベル 113dB。価格 29,000円。



発売元：(株)アキト

〒605 京都市東山区八坂上町366 TEL:075-541-6263, FAX:075-541-6260

「みみだより311号」について

先日の「みみだより311号」での記事「ループから赤外線へ」について、徳島県中途失聴・難聴者協会の会長、遠藤孝様より貴重なFAXを頂戴しましたので、要約してご紹介いたします。遠藤会長は、中途失聴者であり、全ろうという130dBスケールアウトの聴力でしたが、最近、人工内耳の手術をされ、現在は電話での会話ができるようになっているそうです。以前から、公共施設へのループ設置運動を進めてこられ、その活動はたびたび新聞にも報道されています。

先日の「みみだより311号」の記事を読み、ちょっと書きたくなりましたので、お送りします。

8月に京都で人工内耳フォーラムを行った際、40人くらいの参加者の半数の方から、赤外線の音について「こんなに聞こえの良いは初めて経験した」などの感想をもらいました。赤外線システムを公共施設に付けてほしいと行政に働きかけていきたいと多くの方々が話しておりました。また、人工内耳のリハビリの中で、赤外線システムの利用についても指導して欲しいという話も出てきました。そういった訳か、最近公共施設に赤外線システムを導入するところが多くなっているように思います。この点で、補聴援助システムについて進めていくにあたって、考えておくべきことが実に多いように思いますし、ろう教育関係者と私たちが席を並べて議論しなくてはならない時に来ているように思います。

難聴者にとって、一番大切なのは、聞こえが良いことなのです。ループより赤外線が優れている点は、聞こえが良いことにつきると思います。人によっては、ループの音を聞き始めたときには違和感を感じるが、5分ぐらいで慣れてくるという人もいます。私自身は、人工内耳のマイクロホンの上に、ソニーに赤外線ヘッドホンを着けて聞くと「いい音だなあ」と感心することがあります。音の良さという点以外では、ループの法がメリットが大きいように感じています。

ターンループについて、本当のところあまり理解されていないように私は思っています。ループシステムのトラブルの多くは、FMマイクを使うワイヤレスシステムの部分で、有線マイクを使うとトラブルが減ります。確かにループは音質が悪くなります。昨日、K町で要約筆記の講習会をしたのですが、その会場に私は健聴者のために、スピーカも設置したのです。そして、聞き比べると、ループより、スピーカからの音の方が自然に聞こえるのです。

以前、ある議会議場の傍聴にいったのですが、そのループシステムをテストしたら、ループとしては作動していないことが判明したのです。そこで、床をはがさないで、何とかできないかということになり、ソニーのミキサーを入れて、70席だけは聞こえるようにしました。神奈川や東京あたりのフラットループ敷設の会場でも、十分に使いこなせていないところも少なくないのです。

私は現在、6つの補聴援助システムを場合によって使い分けています。

また、私は①のシステムを全国に広めたいと思っています。

①100～600人くらいの会場

ソニーのミキサーとビクター120W8Ωアンプ+0.75mm6ターン

②100～1500人くらいの会場

ソニーのミキサーとパナソニックWP-9220のアンプ+0.75mm6ターン

- ①-1. 300W+300W (4Ω) で使う
- ①-2. 200W+200W (8Ω) で使う
- ①-3. モノラル600W (8Ω) で使う

③おしゃべりループ

タイピン型有線マイク+マイクミキサー+ターンループ

10人ぐらいが手にマイクを持たずにおしゃべりを楽しめるループ

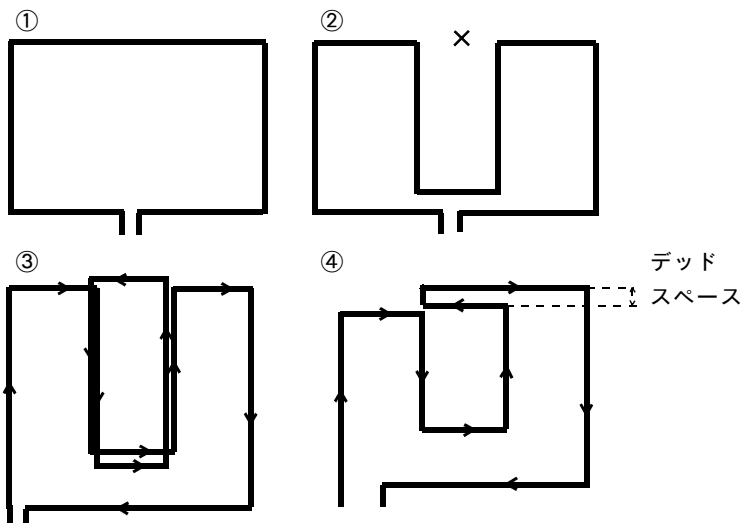
④個人～数人用ループ：バックに入れてどこへでも持ち運びができるループ

⑤ワイヤードシステム：5～10人が赤外線以上の音質を楽しめるシステム

⑥予備システム：ソニーのミキサーとpeavey 700W 8Ωアンプ+0.75mm6ターン

- ⑥-1. 210W+210W (8Ω) で使う
- ⑥-2. 350W+350W (4Ω) で使う
- ⑥-3. モノラル700W (8Ω) で使う

実際の使用にあたっては、補聴器によってループ感度が全く違うのと、一人一人の難聴者の聞こえも全然違うために苦勞しています。協会で使う場合は、300mA/mで使うことが多く、これ以下では「聞こえない」と言って文句が出てくるのです。ターンループの敷き方ですが、①のようだと、教室くらいの広さでも「聞こえにくい」という人が出てきます。②のように敷くと、×のところの聞こえが悪くなります。そこで、最近③あるいは④のような敷き方をしています。



先日、K町で行った要約筆記の講習会で、この1年間の間に、当会の会員になった方に体験談を話していただきました。それらの方は、異口同音にループとの出会いの喜びを強調しておりました。難聴者にとっては、ループは生き返ったと思えるほどの効果を示すこともあります。ループについても、今後、進展されることを期待しています。

コンサート開催

第13回 NTTオレンジコンサート 30名様ご招待

ライブホン「ときめき」は聴覚障害を持つ方に、より豊かな音楽を楽しんでいただくため、NTTの電気通信技術を生かして開発した聴覚障害者用ステレオヘッドホンシステムです。

NTT関西支社では、このライブホン「ときめき」を使う「第13回 NTTオレンジコンサート」に30名の方をご招待いたします。参加ご希望の方は、下記の募集要項をよくお読みになった上、ふるってお申し込み下さい。お待ちしております！！

1. 開催日時 97年2月1日(土) 開場/PM 2:00 開演/PM3:00 終演/PM5:00
2. 開催場所 大阪府立青少年会館(大阪市中央区森ノ宮中央2-13-33)
3. 出演 NTT関西吹奏楽団他
楽しさいっぱいのファミリーコンサートです
4. 募集要項
 - (1) 募集人数 30名
 - (2) 応募条件 ①音楽に興味のある聴覚障害を持つ方。
②ヘッドホンの事前のレベル調整(約1時間)に参加できる方。
(NTT関西支社で、1月26日か27日を予定。変更あり)
※お客様の安全を考慮し、ご参加をお断りさせていただくか、事前に専門医の了解を必要とする場合がございますので、予めご承知下さい。
 - (3) 応募方法 参加をご希望される方は「コンサート参加希望」と書いて、住所・氏名・年齢・連絡番号(電話番号・FAX番号)・学生の方は学校名をご記入の上、FAX又は官製ハガキにてお申込下さい。
 - (4) 申込み先 〒540 大阪市中央区馬場町3-15 NTT関西支社 広報室
(FAX: 06-920-4242)
 - (5) 申込締切 96年12月27日(金) 必着
 - (6) その他 応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

問い合わせ先: NTT関西支社 広報室 担当: 橋本

TEL: 0120-400019 FAX: 06-920-4242

関西でメッセージサービス開始

携帯ファックスメール装置、メッセージが関西でも使えるようになる(97年2月から)メッセージは関東国道16号線圏内で使用できる無線式手書き文字通信装置。正式にはデジタル・テレターミナル通信サービス。

詳しくは、関西シティメディア(株) 〒540 大阪市中央区城見2-1-61 MIDタワー31F
TEL: 06-946-9337 FAX: 06-946-9551 担当: 営業部 平井・川口

新刊図書

バリアフリー・ブック 耳の不自由な人の生活を知る本
“音”を見たことありますか？

E & Cプロジェクト編 松井智監修 小学館

この本は大きく3部に分かれています。第1部「ゆいちゃんのいる教室」、第2部「地面に書いた約束」、第3部「手話の世界」「データファイル」など。第1部では、カラー写真を中心に、難聴のお子さんがごく普通の教室で勉強をしているヨという風景を見せてくれます。第2部では、2色刷りマンガを赤いセルシートを重ねて見ることで、難聴の世界を疑似体験しようという趣向のマンガとなっています。マンガは聴覚障害の社会的バリアをわかりやすく示しています。第3部では、E & Cプロジェクトが調査した「耳の不自由な人たちが感じている朝起きて夜寝るまでの不便さ調査」をもとに、実際の不自由さを、聴覚障害に明るくない人がわかりやすい書き方で説明しています。



斬新なアイデアや、親しみやすい構成で、こどもから大人までが読める本です。全体的に手話に関する記述が多く、補聴器や補聴援助システムなどにあまり触れられていないのは残念ではありますが、わかりやすさ・親しみやすさという点では、省かざるをえない事情も理解できるような気がします。1冊 1,300円。

編集部よりお願い

日頃から「みみだより」をご愛読いただきありがとうございます。本年度（96年4月～97年3月末）は、低料第3種郵便の認可を受けられたことで、送料を大幅に低減させることができ、ほぼ前年度の20%程度の経費ベースで発送ができています。しかし、それを見込んで、300号「難聴幼児の補聴」（300円）、「FM補聴器の使い方」（100円）を皆様にお分けしたこと、さらにご存じのようにページが増えていること前年度18ページ/月→今年度40ページ/月と220%ページ増による印刷費増大により、今のペースで発行を続けると3月には赤字に転落することが確実な状況です。これらは編集部の見通しの甘さなのですが、ページを削ることよりも他の方法でやりくりを考えたいと思い、①年間購読の切替を2月にする。②次年度、複数部数同時発送の利点が送料が安くなったことでメリットが薄くなったため、複数部数同時発送の割引率を低くすることでしのぎたいと思っております。ご理解・ご了承をお願い申し上げます。

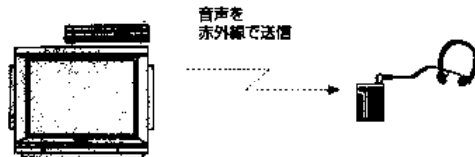
赤外線システム紹介

赤外線システムの音の良さが、システムが広がることで認められつつあるようです。音質がよいこと、特定のエリア以外へ漏れることがないことなどの特徴を持つ赤外線システム、この赤外線システムのいくつかをご紹介します。

1. 手軽に赤外線・・・ソニー社の赤外線ヘッドホン MDR-IFシリーズ
一番手軽に利用できるのが、ソニー社の赤外線ヘッドホンでしょう。オーディオ製品を扱っているお店であれば、どこでも入手することができます。家庭でのテレビ視聴時、軽度から中等度ぐらいの難聴であればそのまま使えますし、耳あな形補聴器使用者が補聴器の上からかぶせて使うこともできます（ハウリングのない範囲で）。
「MDR-IF各種」ソニー（株） TEL:03-3448-3311
2. テレビ視聴用・・・使用法によっては個人用補聴システムとしても使用可能
テレビ視聴用として製品化されているものに、「テレビくん」があります。これには赤外線送受信機がセットされ、さらに補聴器との接続もできるオプションも用意されています。欧米でヒットしている「オーディオリンク」は、音質調整や左右バランスが付き高度難聴までが適用範囲となります。
「テレビくん」ベステックオーディオ（株） TEL:03-5600-3685 FAX:03-5600-3687
「オーディオリンク」日本補聴器販売（株） TEL:03-3263-3817 FAX:03-3561-3088
「オーディオリンク」ゼネラル通商（株） TEL:03-3293-2271 FAX:03-3293-3885

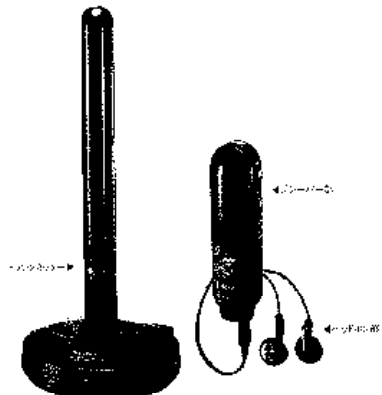
テレビなどの音の情報を
送信機に入力

専用レシーバー
にて受信



3. 補聴器と接続して使う
・・・集団補聴システムとしても利用可能
もっとも優れているのは、ソニーが日本聾話学校に納めた専用受信機です。これは左右別々に音質／出力調整ができる補聴器両耳装用者向けに考えられたシステムです。しかし、市販されていないため、本誌311号p.3掲載のソニー社の赤外線受信機 MDR-IF33Kを使わざるをえません。

「MDR-IF33K」ソニー TEL:03-3448-3311



4. 集団補聴システム

集団補聴システムは学校だけで使われるものではなく、多くは文化ホール、講演会場などで使われます。このような場所では、補聴器ユーザーではないが軽度の難聴を持つ老人の方なども補聴対象となります。補聴システムを補聴器ユーザーに限らないことでユーザー数が多くなり、ユーザーが多ければ設置の可能性も高くなるでしょう。このため、赤外線利用の集団補聴システムには、①軽度から中度難聴者はヘッドホン利用、②補聴器ユーザーのためのタイループ／シルエットインダクタ利用の2通りの利用法があります。これらのシステムは各ホールなどの受付などで貸し出す形を取っています。導入されたホールでは、補聴器ユーザー用よりもヘッドホン利用のシステムの方が借り出される回数が多いということです。

このシステムはそのまま聾学校や難聴学級でも使用可能です。

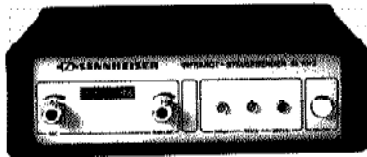
赤外線補聴システムは、①ミキサーで入力音を整える、②赤外線送信機で信号処理する、③赤外線発光ユニット（ラジエータ）から赤外線を出すというシステム構成になります。床工事などが不要ですから既設の施設のスピーカの横にラジエータを設置するだけで良いという設置上のメリットにも大きなものがあります。

また前記のソニーのシステムも集団補聴システムとして使えます。大きな会場の場合は発光ユニットを増やすことが必要で、そのためにDRC-1F1、RF信号分配器が必要となる場合があります。

「インフラポート」ゼネラル通商（株）TEL:03-3293-2271 FAX:03-3293-3885

「アシストホーン」ベストエックオーディオ（株）TEL:03-5600-3685 FAX:03-5600-3687

赤外線送信機SI1013



赤外線受信機HDI1407S



赤外線ラジエータSZ120
(小部屋用)



赤外線と互換性・・・

欧米製の赤外線システムは相互利用が可能です。しかし、日本製のシステムとの混在はできません。これは赤外線に変調する際の方法の違いから起きることです。欧米製のものとは統一されていますので、インフラポートとアシストホーンのシステムは相互に組み合わせることも可能となります。

字幕付き映画

金田一少年の事件簿 (東映)

日本語字幕付きプリント上映のお知らせ

1992年10月より講談社「少年マガジン」での連載開始以来大ヒットとなり、コミックス(1~20巻)の売上は4500万部を突破。更にノベルズになり、CDドラマとなり、堂本剛&ともさかりえコンビでテレビドラマ化されるや、驚異的な視聴率を記録、日本中を推理・サスペンスの一大ブームに巻き込んだスーパーコミックス「金田一少年の事件簿」がアニメーション映画になって登場します。

映画の物語はまだ映像化されていないノベルズの「オペラ座館・新たな殺人」をベースに新たな味付けが加えられて新ストーリーとなります。『金田一少年の事件簿』は12月14日より全国東映系で公開されます。この映画の日本語字幕付きプリントの上映を下記劇場にて行いますのでご鑑賞頂きますようご案内申し上げます。

尚、身体障害者手帳をご持参の方は、ご優待料金にてご入場いただけます。

(大人・学生(中学生以上)1000円、小学生800円)

また、付添いの方は一名様まで1000円にてご入場いただけます。

お問い合わせ先 東映株式会社映画営業部 飯塚

TEL:03(3535)7179 FAX:03(3535)7186

上映劇場	上映日程	電話番号	FAX番号
札幌 東映	1/5(日), 6(月), 7(火)	011(231)2568	011(231)2569
旭川 東映	1/12(日), 13(月)	0166(22)7207	0166(22)7207
丸の内東映	1/5(日), 6(月), 7(火)	03(3535)4741	03(3563)1777
横浜伊勢佐木町東映	1/11(土), 12(日)	045(261)3800	045(253)6838
名古屋東映	12/28(土), 29(日), 30(月)	052(971)3440	052(971)4012
豊橋 東映	1/10(金), 11(土), 12(日)	0532(53)0515	0532(53)0515
京都大宮東映	12/29(日), 30(月)	075(841)3714	075(841)3059
梅田 東映	1/10(金), 11(土)	06(345)7096	06(345)7296
神戸三宮東映	1/6(月), 7(火)	078(391)6757	078(391)6758
福岡 東映	12/28(土), 29(日), 30(月)	092(281)0757	092(281)0776
佐賀 東映	1/4(土), 5(日), 6(月)	0952(24)3904	0952(24)3904
熊本 東映	1/11(土)~14(火)	096(356)7393	096(322)5924

丸の内東映と横浜伊勢佐木町東映の上映時間は下記の通り

..... 10:00 11:55 13:50 15:45 17:40

次回、日本語字幕付き映画は「流れ板七人」だということです。

海外視察旅行のご案内聴覚障害
児童生徒学生 サポートシステム

カリフォルニア視察日程(案)

今年の日本特殊教育学会で、自主シンポジウム「聴覚障害学生サポートシステムの確立をめざして」が開催されました。このシンポジウムを通して、聴覚障害児童生徒学生を取り巻く教育機関が抱える多くの問題や課題が明確化されました。この問題・課題をさらに掘り下げて研究したいと考え、今回、「聴覚障害児童生徒学生サポートシステム・カリフォルニア視察」計画を立てました。関心をお持ちの方の多くの皆様をご参加下さいますようお願い申し上げます。(一部抄)

・・・・・・コーディネータ：野村みどり(東京都立医療技術短期大学助教授)

<日程案>

2月23日	成田→サンフランシスコ
24日	バークレー教育委員会ヒアリング視察 ・フルインクルージョンの経緯・実態・課題 ・幼・小・中・高校視察 ・聴覚障害幼児・児童・生徒サポートシステム
25日	カリフォルニア大学バークレー校 ・障害学生プログラム視察 ・聴覚障害学生サポートシステム問題・課題
26日	サンフランシスコ市におけるヒアリング ・視覚・聴覚障害者のバリアフリー対策 移動
27日	トライポッド(TRIPOD)視察
28日	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校 ・国立聾センター視察 ・聴覚障害学生サポートシステム実態・課題
3月1日	ロサンゼルス→成田

具体的な費用・申し込み要領はまだ決まっておきませんので、参加の意志のある方はとりあえず編集部までご連絡下さい。最新情報をお届けします。なお、日本語通訳・日語手話通訳を用意する予定です。

- ◆バークレー市：フルインクルージョンの先進地。普通学級に在籍する児童生徒に、専門の巡回教師によるサポートシステムを用意している。
- ◆サンフランシスコ市：バリアフリー環境では、アメリカの中でも先進的取り組みを行っている地域である。
- ◆トライポッド：0～13、14歳までを対象とした聾教育施設。約70人が在籍し、小・中学生は地区内の公立学校とトライポッドの双方に籍を置き、両者が連携して統合教育に取り組んでいる。

機器展示会

第20回文化祭のお知らせ

日時：97年1月25日（土）

会場：愛知県立岡崎聾学校（岡崎市西阿知和町字御用田1-23）

連絡先：TEL:0564-45-2830、FAX:0564-45-6248（鹿嶋浩先生）

内容：発表会・機器展示

聴覚障害者の生活に役立つ機器の展示会を開催します。

機器展示

1. 日常生活に役立つもの
 - (1) 多機能的機器
 - (2) 起床に役立つ機器（振動式時計）
 - (3) 来客を告げる機器
 - (4) 難聴者用電話機
 - (5) 電話補助機器
 - (6) 音を楽しむ（聞く）のに役立つ機器
 - (7) 字幕（文字）放送を見る機器
 - (8) 携帯型情報端末機
 - (9) その他の機器
2. 補聴器展示他

岡崎聾学校：交通手段

名鉄電車「東岡崎駅」下車

「東岡崎駅」前バスターミナル⑤⑥番線より、

「豊田市」「足助」

「奥殿陣屋」

「東名岩津」行きに乗車

「東蔵前」にて下車

（所用約20分）

徒歩約10分

